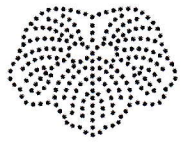


「リウマ伝」は高野の分身がお客様のとうへご挨拶に伺う。という気持ちでお届けしています。



# リウマ伝

77号  
2026年4月26日  
高野 龍馬

「ルーツ探しの旅」

今から9年前のこと。家系図を作ったことがきっかけで私は、山形県米沢市をひとり旅しました。

高野家は昭和30年代、博多へ移り住む際の行き違いで、先祖代々のお墓を失っています。

菩提寺の坊守さんに伺うと、遺骨は無縁仏の石碑に集められているだろうとのこと。自分がやったことではないけれど、とんでもないことをしてしまったように感じ、ご先祖様にお家再興を誓い、無縁仏の石碑に手を合わせました。

帰りの新幹線まで、あと一時間。ふと立ち寄った歴史資料館で、お馬場馬場馬場の事実が判明するのです。

「福岡からルーツ探しの旅で来ました。私の先祖の情報はありますか？」

「恥ずかし気もなく尋ねると、あなたのご先祖は武士ですか？もし武士なら西暦1600年まで遡れます。」

「たぶん武士だと思えます。そう答えて家系図を見せると瞬く間に高野家に関する文書をテーブルに並べてくれたのです。そして、これがあなたのご先祖の家です。」

「182年の城下図を見せました。代々、我家は馬に関する家とは聞いていましたが藩の馬術指南役だ、たとは、どおりで実家の前が馬場（馬の練習場）になっています。」

「あ、あなた、高野さんじゃありませんよ。」

「エッ……？」

「実は私の先祖は高野ではなく西澤だと言っているのです。ある時、西澤にお沙汰（罪）があったようで、命を助ける代わりに西澤姓を捨てるように命じられたと古文書に記されてあるのだとか。」

「じゃあ、高野って名前はどこから来たんですか？」

「そりゃあ、西澤さんの奥さんの苗字ですよ。でも西澤という人はスゴイ人ですよ。米沢藩で2番目に馬に乗るのが上手だったんですよ。」

「と教えてくれました。」

「ここで私のルーツ探しの旅はタイムアップとなり、また誇らしい気持ちで湧き上がってきました。」

「そして、ご先祖様が「また来いよ」と言ってくれているような気がして、米沢を後にしたので、ゴールデンウィーク、今度は家族を連れて、あの場所へ帰ります。皆様も良い休日をも！」



たかの財形事務所  
〒819-0374 福岡市西区千里 707-13  
☎090-3407-2123  
<https://www.takanozaikai.com> x-11 fp.takano@gmail.com